



稲穂 いなほ

No.26の日付も11日でした。

仙南小学校
H30. 10. 11

No. 27

前期終業式で、前期を振り返って発表をしてくれた2人の作文を以下に紹介します。

前期に頑張ったこと、楽しかったこと 1年2組 ○○○○

私が頑張ったことは日直の仕事と係の仕事です。日直の時は大きい声であいさつをしたり、朝の会の司会をしたりしました。黒板を消す仕事は難しかったけれど、高いところも頑張って消しました。係では、私は「ハッピーおしらせたい」という係になりました。帰りの会で明日の時間割や給食の献立をお知らせしました。給食の献立は漢字を読むのが大変だったけれど先生に教えてもらっていうことができました。

前期で楽しかったことは、生活科でモリボの里とラベンダー園に行ったことです。モリボには動物がたくさんいました。私はウサギに触ってみました。背中を優しくなでると、ふわふわして気持ちよかったです。エサやりにも挑戦しました。牛や山羊に干し草をあげたら、いっぱい食べてくれてうれしかったです。後期は、なわとびと漢字の練習をがんばります。

4年生になって頑張ったこと 4年1組 ○○○○

私が前期頑張ったことは3つあります。1つ目は社会の勉強で都道府県を夏休みに全て覚えたことです。何日間もかけて覚えるので大変でした。でも全部覚えられた日はとっても嬉しかったです。2つ目は家でやるお料理です。今は卵焼き・クッキー・コーヒーゼリーを作れるようになりました。もっと作れるように練習したいです。そして3つ目はスポ少のバスケットです。いつもベストメンバーに選ばれるように練習してきました。今年はベストメンバーに選ばれました。これからはベストメンバーに選ばれるだけでなく、試合の中でもっと活躍できるようにしたいです。

後期はもっとできることが増えるように、苦手なことにもどんどんチャレンジしていきたいです。

前期終業式当日は、全国連合小学校長会研究協議会北海道大会があり不在のため、教頭先生にお話ししてもらいました。内容を以下に紹介します。

2人の発表は素晴らしかったですね。前期に何を頑張ってきて、そしてどうなりたいかがよく語られていました。児童会ではミニ集会を自分たちで計画して開く委員会があり、大変に盛り上がりました。運動会の色別や学習発表会の学年パワー、おととい行われた仲良しグループのなべっこ会などでは、協力して物事をやり遂げることのよさを味わうことができ、大成功でした。この他にも楽しい行事や、学年のFW、そして毎日の学習がありました。

「ゆめをもち 心あわせて あしたをえがく」これは、校長先生が4月におっしゃっていた仙南小の学校教育目標です。「ゆめをもち」これは、誰が夢をもつんですか？ 「一人一人」「全校の子ど」先決

「心あわせて」とは、言葉を換えるとどうなりますか？ 「協力」「仲間」

「あしたをえがく」とは、別の言い方にするとどうなりますか？ 「めあてをもつ」「なりたいぶんになる」

学校全体、学年全体、クラス全体がめあてを決めて、みんなで頑張っていくという意味も当然あるけれども、私は、それをするには、一人一人の力が大事だと思っています。そういう意味で、2人の発表は素晴らしかったのです。もし、この中に、「何を頑張ったか思い当たらない」とか、「自分にはいいところがない」とか、「自分に自信がない」とか思っていて、力を出し切れていない人がいたら、強く伝えたいことがあります。それは、「あなたには必ずいいところがある。あなたのよさを発揮して一生懸命頑張ることはとても素晴らしいことなんだ」ということです。

友達と自分を比べてしまうと、「できていいなあ」と思ったり、「どうせわたしは」と自信を失ってしまうことがあるかもしれません。それは自然な感情だと思います。でも、それはその友達の輝きと同じように自分も成長して輝いていることに気付いていないだけなのです。自分のよさに気付くには、人に寄りかからずに自分の足で立つこと、そして、なりたい自分に向かってあきらめないで一生懸命頑張ることが大事です。一人一人がもっている力を精一杯出して、一人一人が輝くことができたとき、この仙南小は、すごい学校になると思います。どうしてそう思うかという理由があるのです。それは、6年生、5年生が、1年前と比べてずいぶん変わってきているからです。授業中の態度とか、あいさつに表している5・6年生が増えてきたからです。

後期もここにみんな毎日の一つ一つのことを頑張っていきましょうね。

それでは最後に、学校教育目標をみんなで言いましょ。

「ゆめをもち 心あわせて あしたをえがく」

後期始業式で、後期の目標について発表してくれた2人の作文を以下に紹介します。

後期に頑張りたいこと

3年1組 ○○○○

ぼくが後期に頑張りたいことは陸上部の練習です。ぼくは前期の終わり頃に陸上部に入りました。理由はもっと速く走れるようになりたかったからです。今は走る練習だけでなく、いろいろな練習を一緒にしています。その中には走り幅跳びの練習もあります。走り幅跳びの練習は強くける力を鍛えることができるので走る力にも関係があります。走り幅跳びは初めてやるのでどれくらい記録が出るのか楽しみです。これからも練習を休まないで続けて、分からないことは監督や先輩に聞いて教えてもらい、もっと速く走れるようになりたいと思います。

後期に頑張りたいこと

6年1組 ○○○○

私が後期に頑張りたいことはたくさんありますが、その中の2つをいいたいと思います。

1つ目は勉強です。私は国語と理科が苦手です。国語では作文や文章問題になると、あてていないことがあるので頑張りたいです。理科は前期の頃から聞いていて意味が分からないことがあるので、後期はその2つの教科を特にがんばりたいです。

2つ目はスクールバンド部です。10月は特にイベントが多く、その中には美郷町の小学校3校が合同でやるものもあります。平日の練習もあるので頑張りたいです。また、6年生はあと半年で終わりなので、小学校生活最後のスクールバンドを楽しみたいです。

後期始業式で以下のようなこととお話ししました。昔からの言い伝えや諺を話題にしてみてください。

食欲の秋、収穫の秋。昨日までの5日間の秋休みはどうでしたか？楽しかったですか。ところで、5年生は2週間ほど前に稲刈りを行いました。皆さんは稲刈りをしたことがありますか？経験のない人も稲の穂を思い出してみてください。では、こちらを見てください。

この二つの穂の様子を比べてみてください。何かが違っていませんか。

そうです。こちらは重そうに垂れていて、こちらはあまり垂れていなくて、まだ上の方を向いています。どちらがおいしいお米がたくさん入っているかわかりますね。この稲の様子を見て、昔の人はこんなふうにも子どもに教えました。

「みてごらん。よく実った稲ほどお米の入った部分が重くなって、まるでお辞儀をしているようだね。空っぽの稲はいつまでもつんと上を向いてまるで威張っているようだね。お米と同じように、本当によくできた人間、つまりたくさん知識を身に付け、心の勉強もたくさんした人は、決して威張ったりしないんだよ。どんな人にも礼儀正しく、周りの人に自慢したりせずに、きちんと頭を下げることができるんだよ。ただ威張っている空っぽの稲のようになってはいけないよ。」

そのことを「実るほど 頭を垂れる稲穂かな」「……」と短い言葉でもとても大事な教えにしたのです。昔の人は、学校で勉強したわけではなくとも、自然の様子や田んぼの稲からもいろいろな知恵を学び、人としてどう生きていったらいいのかを考えました。それは、点数では表せない、人としての価値に関わる大事なことです。そして、「教え」として代々子どもに伝えました。

皆さんの周りには、よく実った稲のように、誰にでも優しく、威張ったり意地悪をしたりしないいい人はいますか。自分はどちらの稲に近いのか、少し考えてみましょう。そして、後期は「実るほど 頭を垂れる稲穂かな」と言われる人になるためには、どんなことをしていけばいいのかを考えながら生活してほしいと思います。



どうしてなんでしょう？

昨年度のうちに籾殻を入れて耕起してもらい、水はけが良くなるように工夫して臨んだサツマイモ栽培でしたが、左写真のように茎や葉がほとんど伸びず、昨日試しに4・5株掘ってみたところ、左下写真のように小さなサツマイモが5・6個しかとれません。何が原因なのか心当たりのある方がいたら教えてください。

こんな状況ですので、延び延びになっていた全校サツマイモ掘りは中止し、担当委員会児童と有志を募って休み時間を利用して収穫(?)することにしました。持ち帰るほどの収穫も期待できないため、できれば焼き芋にして全校で味わいたいと思います。ご理解下さい!!